

事業	18	インクルーシブ教育システム推進事業
担当所属		指導課

【予算額・決算額】（円）

予算額	決算額	（財源内訳）				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,231,000	2,086,852	2,086,852	0	0	0	0

【決算額の節別内訳】（円）

07	賃金	2,076,852	08	報償費	10,000
----	----	-----------	----	-----	--------

【実施計画の概要】

事業の内容	・地域の教育資源の組合せ(スクールクラスター)の活用により、支援が必要な児童生徒があらゆる場で合理的配慮に基づく支援が受けられる体制を構築するためのインクルーシブ教育システム構築を推進します。
事業の目的	・ことばの発達に課題のある児童のニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。 ・障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。
事業の効果	・ことばの発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。 ・発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。

【事業の概要】

- ・研究推進のための運営協議会を年 3 回開催しました。
- ・学校支援コーディネーターが必要に応じて在籍校と通級校を行き来し、必要な合理的配慮を行いました。
- ・言語教育の分野だけでなく、その他の障害種についても、リーフレットの活用や研修会の実施により、教員の専門性を高めることができました。

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
ことばの発達に支援が必要な児童のための研修を実施した小学校の数	23 校	—	—
ことばの発達に課題のある児童が通級することばの教室数	7 教室	—	—
ライフサポートファイルを活用した学校数	23 校	—	—
ことばの発達に課題のある児童の通級指導教室への通級数	180 人	—	—
関係者の連携のためのチーム支援会議開催回数	10 回	—	—